

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	林野庁東北森林管理局藤里森林センター	連絡先	0185-79-1003
所管する業務の概要	1 白神山地世界遺産地域及び周辺地域の森林の巡視、保全・管理活動等。 2 森林レクリエーション、指導・普及事業の実施。「森林レクリエーション事業の企画、調整、実施等」 3 国民参加の森林づくり等の推進。「特にボランティア団体等が行う自主的な森林整備活動の支援等」		

1. 基本的な心構え・行動	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
森林教室、自然観察会、森林ふれあい推進事業、森林環境教育、教職員の研修の受入れ等、一般国民と直接接する機会が多いことから、国民にわかりやすい説明に心がけている。	説明する職員によって内容が区々にならないよう、センター職員全員で説明内容が同一になるよう、日々研鑽に努め、説明職員の能力の向上を図っている。
白神山地世界遺産地域及び周辺地域における巡視、保全活動等で、一般国民に好感度をもたれるような入山マナーの啓発に努めている。	入山に当たって、ペット（犬）を連れての入山はお断りしているが、依然として後を絶たないことから、命令口調ではなく、丁寧かつ笑顔を交えた説明で対応している。

2. 政策・事業の企画立案・推進	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
森林ふれあい推進事業において、毎回募集人員に対して応募者が多く参加出来ない国民が多いことから、業務計画作成時に開催回数を多くする等対応策を考えている。	開催回数を多くすることによって、通常業務に影響を及ぼさないよう、職員の努力により、円滑な業務運営に努めている。
森林環境教育等の実施要請回数が更に増加するよう、森林管理局・当所のホームページを活用しPRに行っている。	森林環境教育等の実施を要請した団体の要望に、十分満足して頂けるよう、実施内容の充実に努めている。

3. リスク管理	
<p>・ 現在行っている取組や工夫</p> <p>白神山地世界遺産地域周辺の緩衝地域にある登山道の整備において、種々の制約があり、その整備方法に苦慮している。</p> <hr/> <p>白神山地世界遺産地域の核心地域（秋田県側）は、原則として入山を禁止しているが、依然として魚釣り等の密猟者の入山の痕跡が確認されており、その対応に苦慮している。</p>	<p>・ 点検によって得られた課題とその改善策</p> <p>ボランティア団体と連携し、登山道に覆い被さっている、笹・灌木等最小限の作業で、登山道の維持に努めている。</p> <hr/> <p>関係機関及びボランティア団体等と連携した合同パトロールの実施及び職員による巡視活動の強化等により、その防止に努めている。</p>

4. 食の安全に関する取組	
<p>・ 現在行っている取組や工夫</p> <p>当所では直接、食の安全に関わる業務は行っていないが、食の安全に関する、新聞報道等について、関係する記事を切り抜き、職員回覧を行っている。</p> <hr/>	<p>・ 点検によって得られた課題とその改善策</p> <hr/>

5. その他の重要な取組	
<p>・ 現在行っている取組や工夫</p> <p>業務に関する打合会議を、毎週定例的に行い、その週の実施事項及びその対応策等について、職員全員で論議し、実施内容を職員全員で共有し、業務の円滑な運営が行えるようにしている。</p>	<p>・ 点検によって得られた課題とその改善策</p> <hr/>